

富山県 フリースクール等こどもの居場所づくり支援検討会資料

2026/07/31



Daisuke Kaga

＼今年4月に子どもが生まれました／

かが だいすけ 加賀 大資

認定NPOむすびえ 公共政策領域 リーダー
新潟県妙高市「若者の多彩な居場所づくり」推進アドバイザー
沖縄県 居場所づくりアドバイザー
横浜市戸塚区社協 こどもの居場所づくりアドバイザー
富山県 フリースクール等こどもの居場所づくり支援検討会 委員

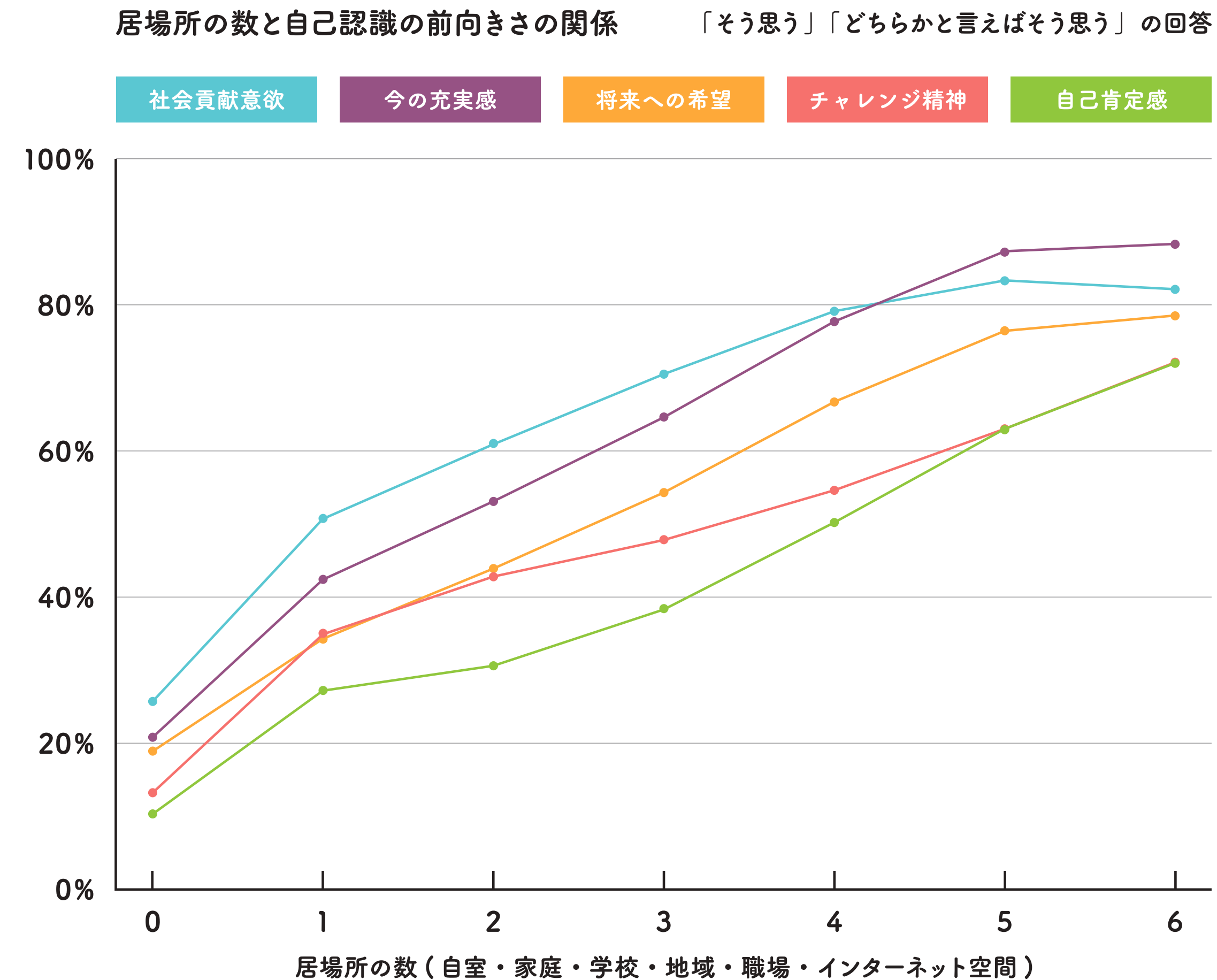
元こども家庭庁居場所づくり専門官。2012年、教育NPOに入職し、東日本大震災の被災地や困窮世帯など、生まれ育つ環境に困難を抱えるこども・若者の様々な居場所づくり事業を立ち上げる。その後、省庁として初めて所管するこどもの居場所づくりの民間人採用として、内閣官房こども家庭庁設立準備室へ転職。居場所づくり専門官として、こどもの居場所づくりに関する指針策定をはじめとする政策に携わる。現在は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえにて、こどもの居場所づくりを進める自治体を支援する事業を立ち上げ、推進中。

「居場所づくり」について
記事を更新しています。
よければご覧ください。



「居場所」があることの効果とは？

居場所の数が多ければ多いほど、
「チャレンジ精神」や「将来への希望」「自己肯定感」などが高くなる傾向にある。



内閣府「子供・若者インデックスボード4.0」（2023年3月1日）よりグラフを編集

「居場所」があることの効果とは？

「地域」に「居場所がある」ことが、「生活度満足度」や「幸福度」を高める。

Q7居場所		日本		
		Q1 生活満足度	Q2(a) 幸福感	Q3 人生の意義
自分の部屋	なにもせずのんびりできる、ありのままでいられる	0.00	-0.04	-0.02
	悩みの相談ができたり、自分の意見や希望を受け入れてくれる	-0.03	-0.05	-0.06
	いろんな人と出会える、だれかと一緒に過ごせる	0.00	-0.04	-0.01
	好きなことをして自由に過ごせたり、新しいことにチャレンジできる	0.03	0.01	0.03
家庭	なにもせずのんびりできる、ありのままでいられる	0.17 **	0.16 **	0.18 **
	悩みの相談ができたり、自分の意見や希望を受け入れてくれる	0.11 **	0.08 **	0.18 **
	いろんな人と出会える、だれかと一緒に過ごせる	0.06	0.07 *	0.11 **
	好きなことをして自由に過ごせたり、新しいことにチャレンジできる	-0.02	0.06 *	0.00
習いごとや趣味の場所	なにもせずのんびりできる、ありのままでいられる	0.11 **	0.10 **	0.07 *
	悩みの相談ができたり、自分の意見や希望を受け入れてくれる	0.01	0.02	0.02
	いろんな人と出会える、だれかと一緒に過ごせる	0.04	0.05	0.03
	好きなことをして自由に過ごせたり、新しいことにチャレンジできる	0.09 **	0.06	0.06
地域	なにもせずのんびりできる、ありのままでいられる	0.12 **	0.12 **	0.14 **
	悩みの相談ができたり、自分の意見や希望を受け入れてくれる	0.13 **	0.14 **	0.13 **
	いろんな人と出会える、だれかと一緒に過ごせる	0.14 **	0.17 **	0.14 **
	好きなことをして自由に過ごせたり、新しいことにチャレンジできる	0.09 **	0.08 *	0.08 **
インターネット空間	なにもせずのんびりできる、ありのままでいられる	-0.04	-0.02	-0.05
	悩みの相談ができたり、自分の意見や希望を受け入れてくれる	-0.08 **	-0.09 **	-0.04
	いろんな人と出会える、だれかと一緒に過ごせる	-0.02	-0.02	-0.03
	好きなことをして自由に過ごせたり、新しいことにチャレンジできる	-0.04	-0.01	-0.07 *
自由度調整済み決定係数		0.134	0.133	0.158
n		1089	1089	1089

居場所感と主観的ウェルビーイングとの関連（令和5年度こども家庭庁）

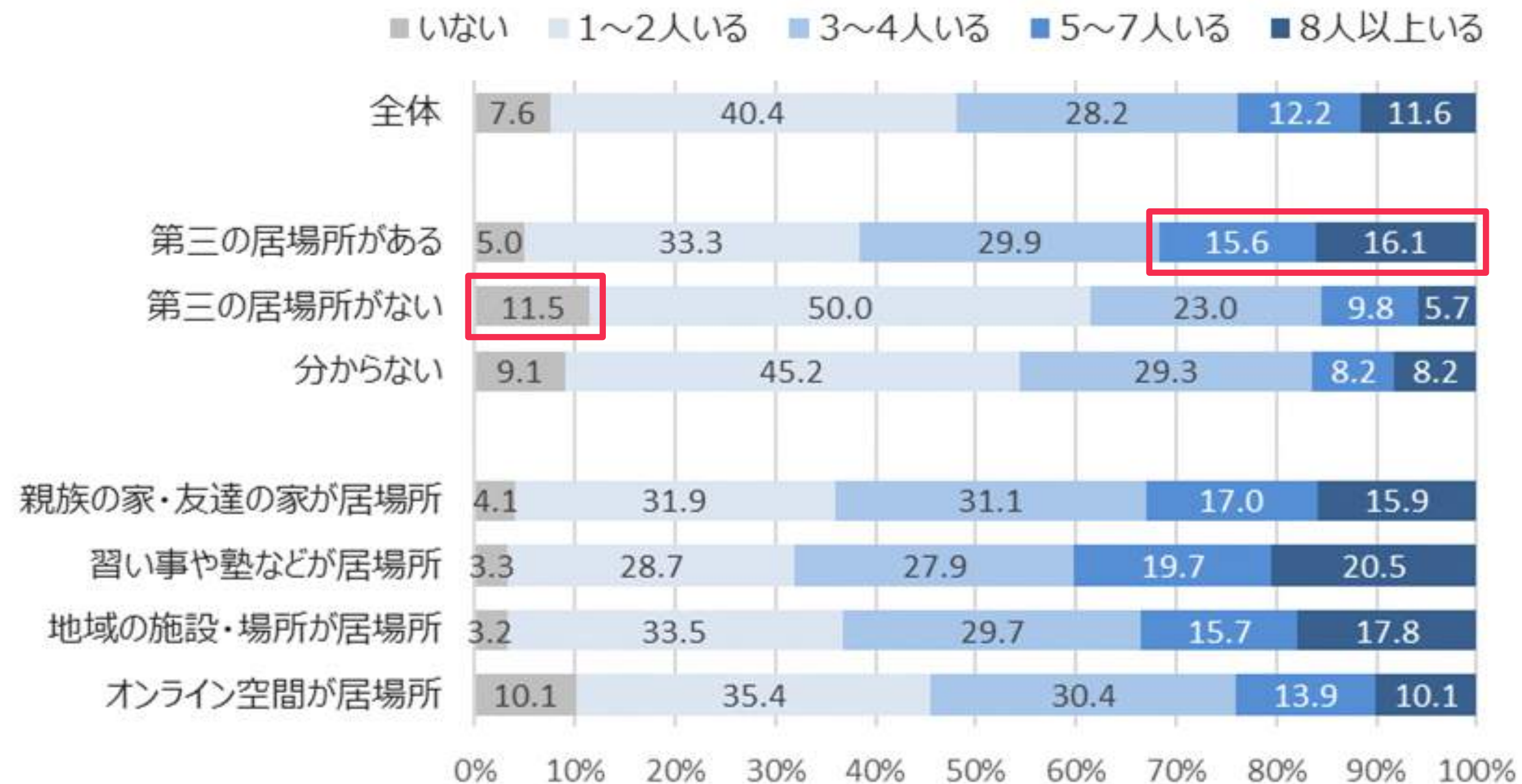
調査結果：

第三の居場所がある場合、相談できる人が多い傾向



- 第三の居場所がある場合、相談できる人の数が多い傾向がある。特に「8人以上いる」が16.1%、「5人以上いる」では31.7%となっていた。
- 第三の居場所の中では、「習い事や塾」「親族の家・友達の家」「地域の施設・場所」などが居場所の場合、「5人以上」が多い傾向があったが、「オンライン空間」が居場所の場合についてはその傾向はみられなかった。

相談できる人の人数 (n=760)

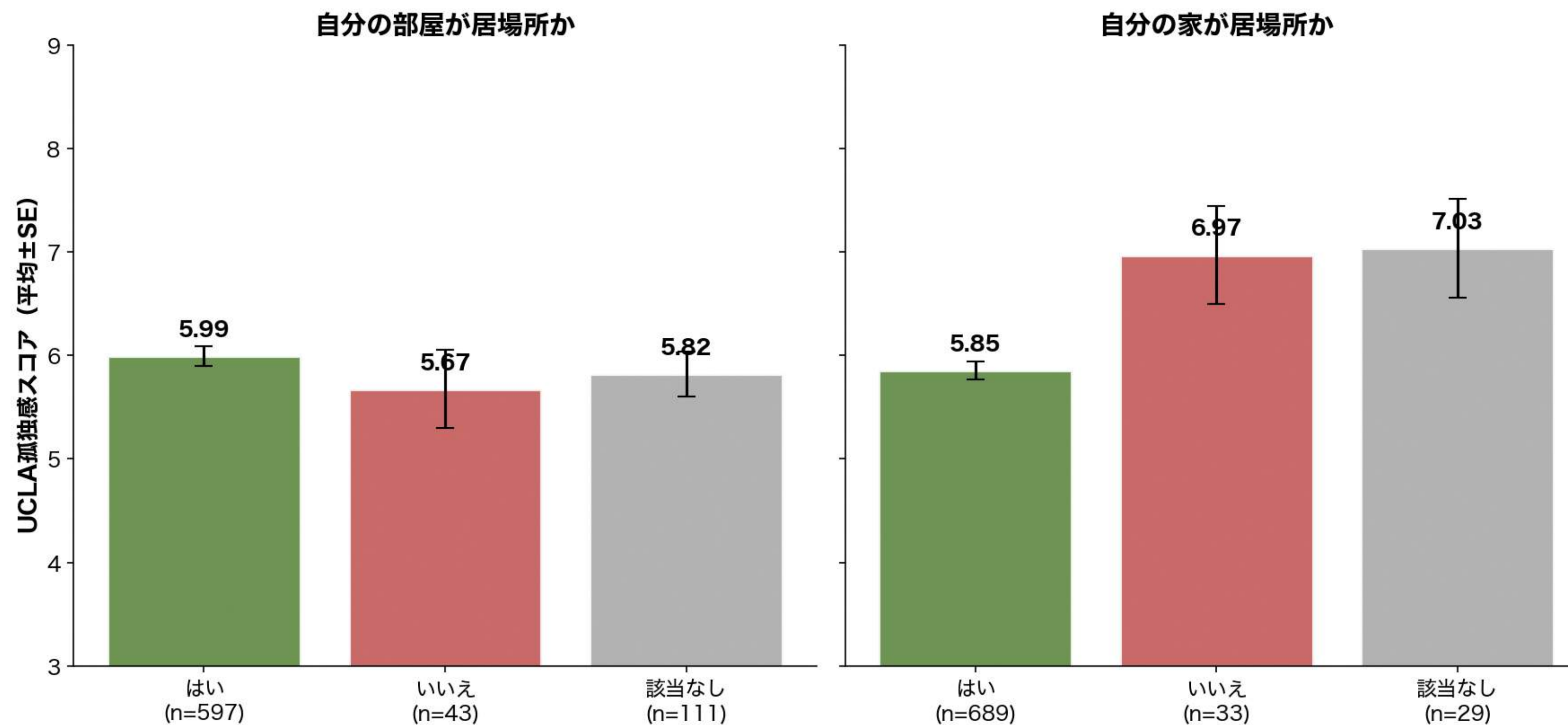


家庭が居場所だと、孤独感は低い



- 自分の部屋が居場所及び自分の家が居場所と回答しているほど、孤独感が低い傾向
- 家庭内での居場所の有無が、孤独感と関連している可能性を示唆

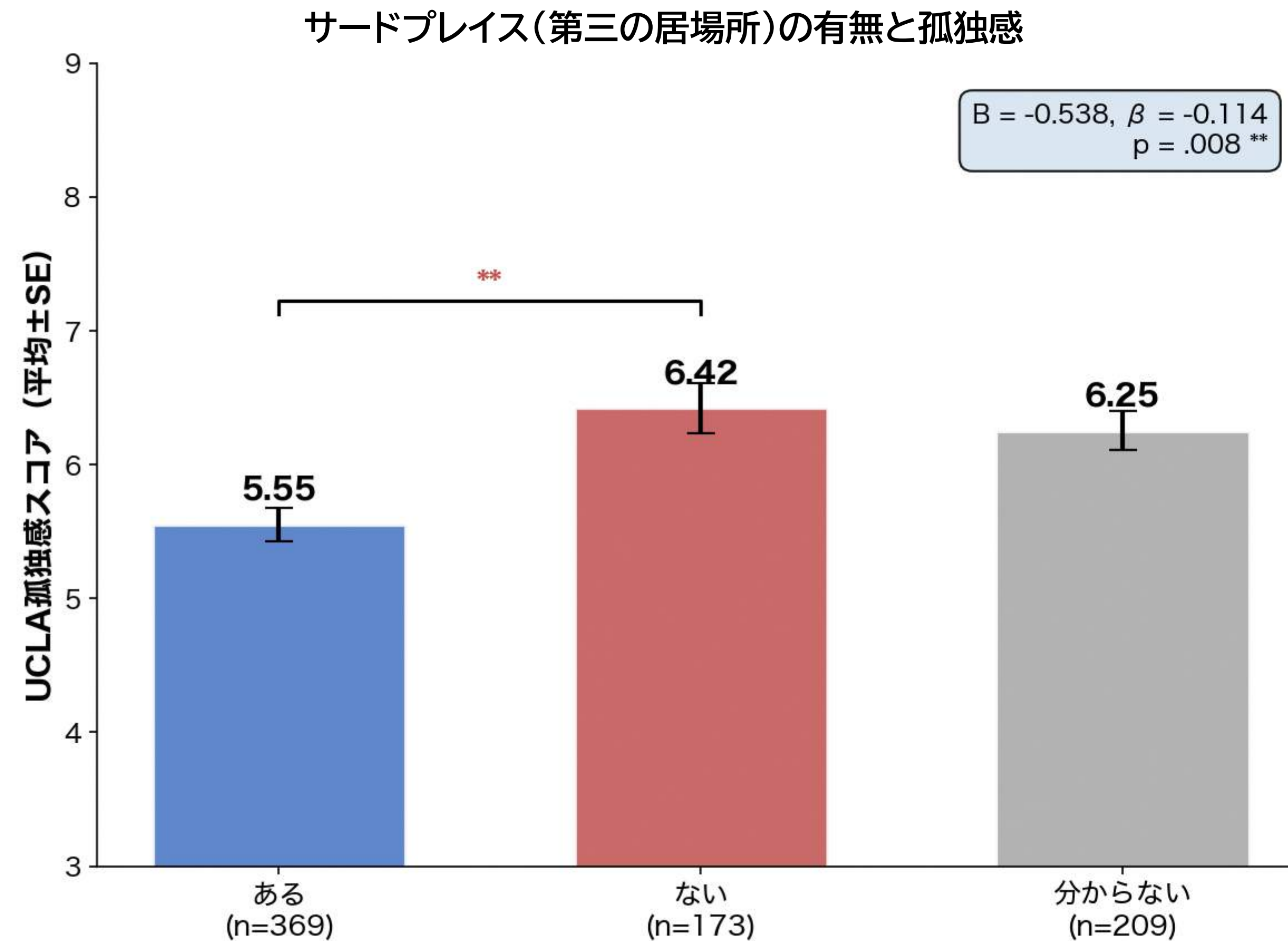
1st/2nd Place（自分の部屋・家）の居場所感と孤独感



サードプレイスがあると、孤独感が低い



- サードプレイスがあると回答していると、孤独感が約0.8ポイント低い。



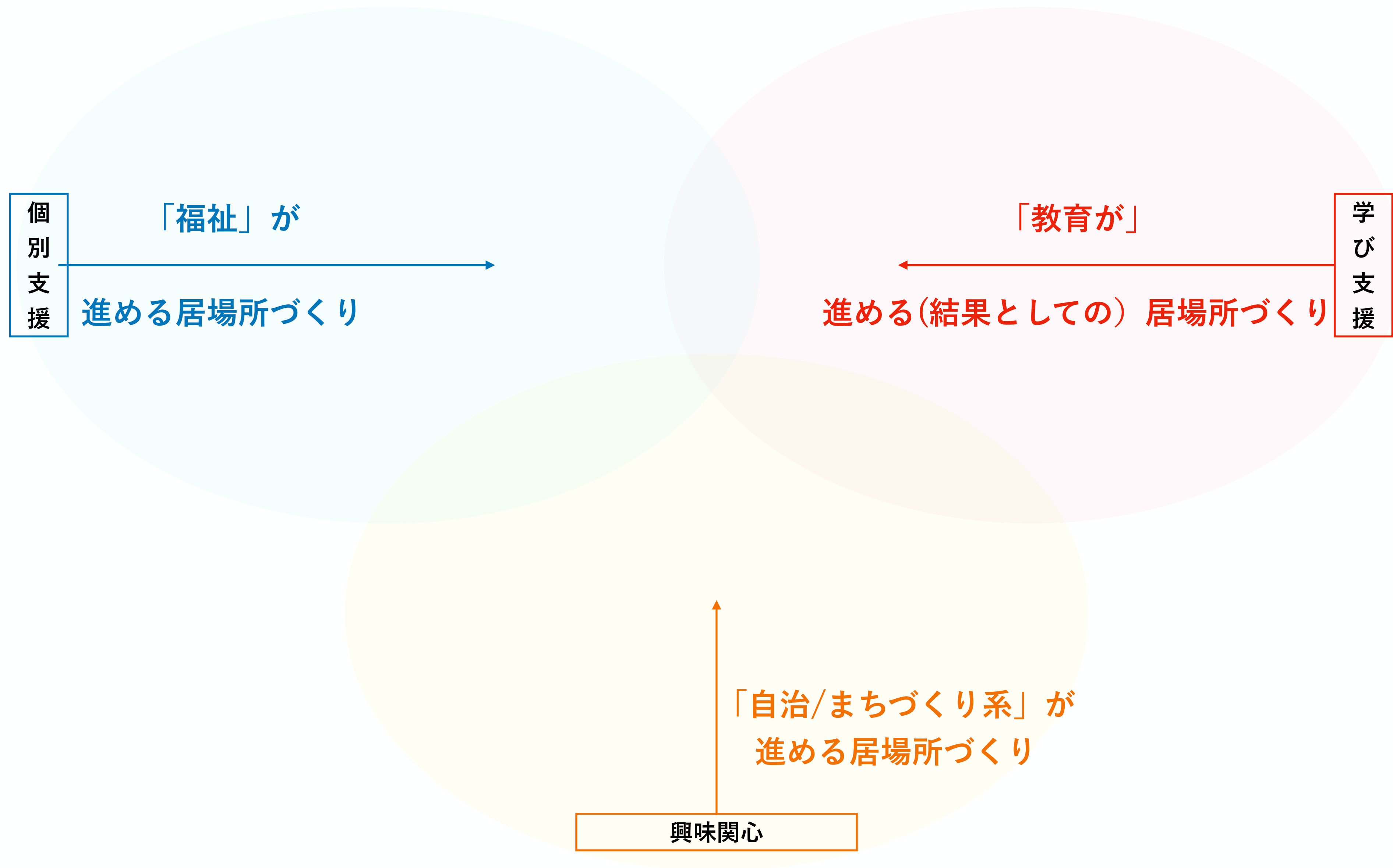
全国の「居場所づくり」の事例より、今後の議論のご参考になればと願い共有したい3つの観点

1 **こどもの居場所づくりにおける多様なアプローチ**

2 **ゆるーい居場所づくり**

3 **「居場所」全体をコーディネートするひとの重要性**





【豊中市の事例】「子どもまんなか円卓会議」



【2024年度第2回 子どもまんなか円卓会議の報告】

2月4日(火)、豊中市立文化芸術センターでいこっと主催の「こどもまんなか円卓会議」を開催しました！

まず最初に下期の事業報告や新規立ち上げ居場所の紹介を行いました。

いこっと事業ではボランティア講座を3回に渡り実施し、多くの方にご参加いただきました。

新規立ち上げは下期で9か所、年度全体では19か所が実施されました。

2月4日時点で66か所の居場所団体がいこっとに登録しています。

円卓会議後半は、グループに分かれ参加者のみなさんの自己紹介と「こんな豊中になったらいいな」とそれぞれの想いを共有する時間を設けました。

相手の背景を知らながら未来の豊中のこと、子どもたちのこと、目の前にある課題や楽しいことなど幅広く話されていたのが印象的です。

今回は終了後にORION COFFEEさんのご協力があり、交流会も実施することができました。

当日は計43名の方々にご参加いただき、最後まで和やかな雰囲気で行うことができました。

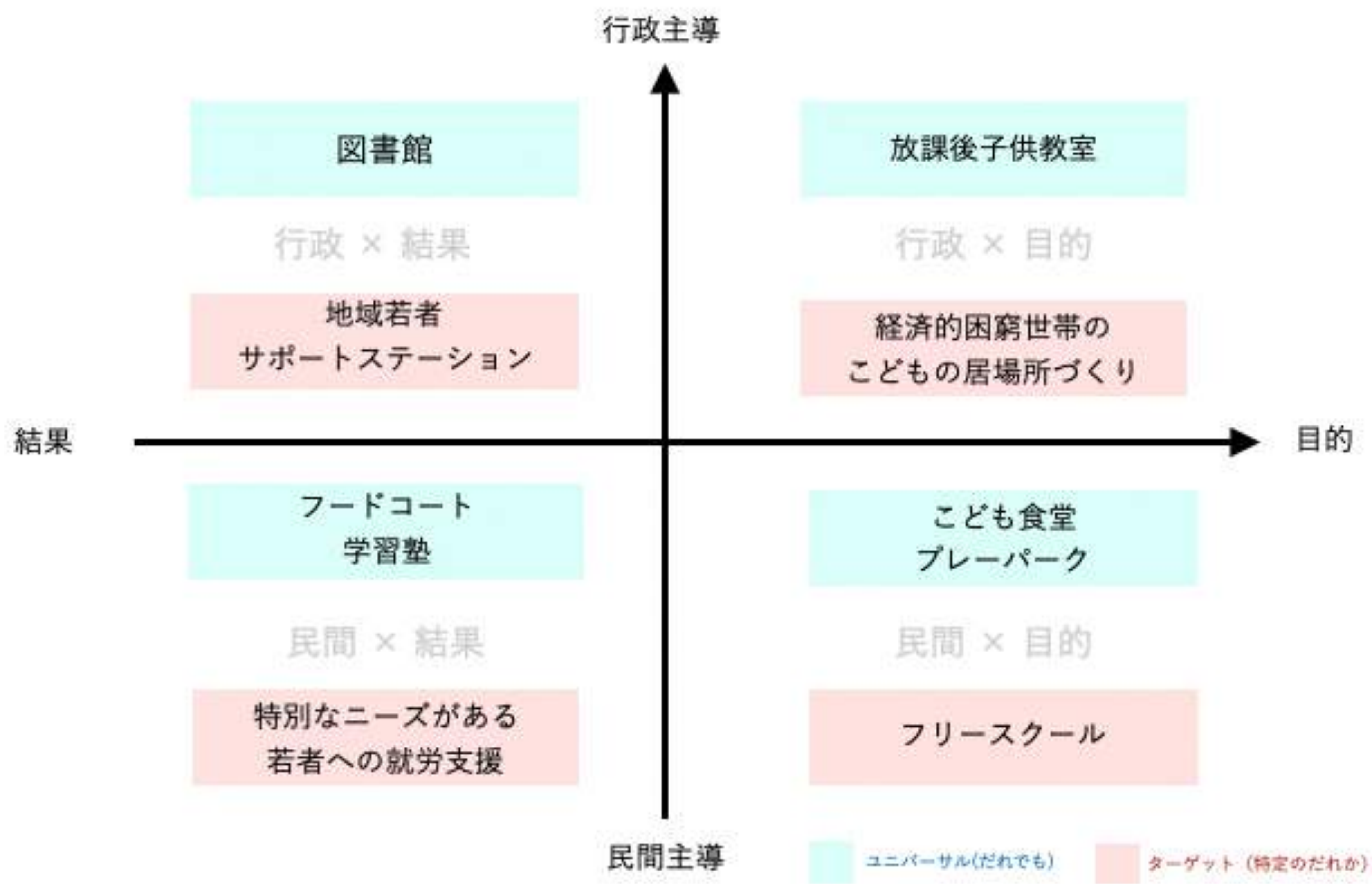
全国の「居場所づくり」の事例より、今後の議論のご参考になればと願い共有したい3つの観点

1 **こどもの居場所づくりにおける多様なアプローチ**

2 **ゆるーい居場所づくり**

3 **「居場所」全体をコーディネートするひとの重要性**

3軸で分けた「(一般的な)こどもの居場所」



屋敷町

こども食堂

予約不要

土曜日

無料



まぜこぜの居場所No. 9

たかはましせきじゅうじほうしだん

高浜市赤十字奉仕団

運営団体：高浜市赤十字奉仕団

開催日 不定期開催 12:00～14:30 （開催日は下記をご覧ください）

料金 無料

電話 0566-95-9553



令和7年度の予定

令和7年

5月3日（土）、6月7日（土）、7月5日（土）、9月6日（土）

10月4日（土）、12月6日（土）

令和8年

2月7日（土）

ハートラちゃんニコニコ食堂（こども食堂）を開催しています。こども、大人への食事の提供をしています。誰もが気軽に立ち寄れる居場所を提供します。

春日町



まぜこぜの居場所No. 2

せいかつぎっかすぎひろ

生活雑貨すぎひろ

開催日 月曜日～土曜日
9:00～18:00

場所 春日町六丁目2番地24

料金 無料

予約不要

体験

土曜日

平日

無料

くわしく見る



机とイスが設置してありますので、勉強や宿題をしたり、おしゃべりの場としてご利用いただけます。

沢渡町



まぜこぜの居場所No. 10

かぶしがいしゃはうすぶろだくと

株式会社ハウスプロダクト

運営団体：株式会社ハウスプロダクト

開催日 月・火・木・金・土・日曜日
10:00～17:00

場所 沢渡町三丁目7番地13 岩角ビル1F

料金 無料

予約不要

土曜日

平日

日曜日

無料

[くわしく見る](#)



机と椅子・キッズスペースがありますので、勉強や宿題、おしゃべりの場としてご利用いただけます。

※業務で使用中の場合はご利用いただけません。ゴミは各自でお持ち帰りください。

全国の「居場所づくり」の事例より、今後の議論のご参考になればと願い共有したい3つの観点

1 **こどもの居場所づくりにおける多様なアプローチ**

2 **ゆるーい居場所づくり**

3 **「居場所」全体をコーディネートするひとの重要性**

2層で分ける居場所づくり

2層目

地域全体で進める居場所づくり

1層目

それぞれ個別で進める居場所づくり

児童館

学童

プレイパーク

学習
支援

こども
食堂

鳥取市主導で実施した「中核市アンケート」調査結果（2023）

中間支援団体への支援と首長の表明は、
こども食堂増加の後押しになっている

充足率	市数	市名
10%未満	1	
10%以上～20%未満	4	
20%以上～30%未満	7	
30%以上～40%未満	12	
40%以上～50%未満	12	
50%以上～60%未満	9	
60%以上～70%未満	0	
70%以上～80%未満	2	尼崎市78.0%、鳥取市70.7%
80%以上～90%未満	0	
90%以上～100%	1	明石市100%
不明	7	

充足率	市数	食堂への支援	中間支援団体への支援	首長の表明	行政計画への位置づけ
		有	有	有	有
10%未満	1	1	0	1	1
10%以上～20%未満	4	2	1	1	3
20%以上～30%未満	7	7	1	2	2
計		10	2	4	6
%		83.3	16.7	33.3	50
50%以上～60%未満	9	7	2	6	5
70%以上～80%未満	2	2	1	1	1
90%以上～100%	1	1	1	1	1
計		10	4	8	7
%		83.3	33.3	66.7	58.3

◎むすびえ「都道府県別箇所数・充足率（校区実施率）等一覧
第1位：沖縄県 56.70% 第2位：鳥取県 54.62%

◎鳥取市の充足率は、中学校区94.1%、小学校区70.7%
全国的に高い水準にある

◎充足率の高い12自治体と低い12自治体について、食堂への支援、中間支援団体への支援、首長の表明、行政計画への位置づけについて比較

◎「中間支援団体への支援」と「首長の表明」について、充足率が高い自治体群は、低い自治体群の約2倍となっている

出典）鳥取市提供資料

地域ぐるみで進めるプラットフォーム構築

6 鳥取県鳥取市 麒麟のまち地域食堂ネットワーク運営事業

【麒麟のまち地域食堂ネットワークホームページ】 <https://chiikisyokudounet-kirin.com/>

総事業費(令和7年度):9,995 千円 コーディネーター配置人数(令和7年度):2人



● 事業概要

鳥取市を中心に、1市6町で麒麟のまち圏域を構成し、地域共生社会の実現を推進するために、こどもを含む全年代の市民が集う地域食堂等の居場所の推進と、中間支援ネットワークの構築をはかるもの。

● コーディネーターの配置状況等

行政・居場所の運営団体・地域企業等の支援団体によるネットワーク組織「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」を立ち上げており、広域連携で動くことのできるプラットフォームとして位置づけている。コーディネーターはこの団体内に配置されている。

以前より独自財源で1名配置していたところ、令和7年度よりこども家庭庁の事業を活用し、もともと地域活動に関わっており、地域の信頼がある人物を、新たに1名コーディネーターとして任命した。

● コーディネーターの業務内容

① 地域食堂等の居場所づくり実践の実態把握

地域食堂等の居場所に対するペーパー調査やヒアリングを実施し、その結果は極力公開することで、地域食堂の取組の見える化を進めている。

② 活動に関する相談窓口

何かあった際に実施団体が気軽に相談できる窓口となっている。地域活動の「部活動」の立ち上げ等、相談をきっかけとして活動の幅が広がることもある。また、実施団体にとって相談先があることが、困り感の軽減につながっている。

③ 地域の潜在的な人材発掘

全小学校区での地域食堂の開設を目指しており、担い手の発掘のため、「地域食堂入門講座」等の企画を各地域で実施し、参加者に声をかける等している。

④ 企業連携の推進

地域企業等、支援団体の取りまとめも行っており、支援方法に悩む企業とは協議し、本業に関わらずフードドライブへの参加やマンパワーの提供等につなげている。また、年1回のネットワーク組織の総会では、運営団体と支援団体が直接会い、顔の見える関係を構築できるようにしている。

⑤ 寄付された食材等の管理・仕分け

多くの食材等が寄付されるため、それらの管理等も重要な役割となる。

● 本事業の特色等

鳥取市を中心に、周辺の6町と圏域の取組を推進している点が最大の特徴。ただし自治体間のやり取りは、自治体担当課レベルのやり取りが不可欠であり、本事例では鳥取市の担当課が6町の担当課とやり取りすることで連携を可能としている。

行政・運営団体・支援団体の三者による組織が立ち上げられている点も重要。各運営団体への支援はこの組織を通して実施することとなっており、寄付も含めて支援物資等を一括して管理しているため、行政からの予算支出にも上限を設定できている。

● 担当者／コーディネーターの声

こどもの居場所である「地域食堂」の「魅力」を地域の人々に発信することを大切にしています。食堂のスタッフから様々な運営上の課題に係る相談を受けますが、「断らない相談支援」をモットーにして、課題解決に向けて伴走しています。そして「食堂をやってみたい」担い手の発掘と、「地域貢献をしたい」という企業に対して、その企業が何ができるのかを一緒に考えることに力をいれています。